

平成 27年 05月 23日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

100年住宅たくみ

グループの名称

たくみ

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

山杉 充夫

代表者印

代表者所属先

(株)たくみ設計工房

代表者構成員番号

V-2, VI-2

代表者所在地

徳島県徳島市東新町2丁目12第3パルビル1F

代表者電話番号

088-624-8853

(グループ事務局)

事務局事業者名

(株)たくみ設計工房

事務局構成員番号

V-1, VI-1

事務局担当者名

張 正昭

印

事務局郵便番号

770-0912

事務局所在地

徳島県徳島市東新町2丁目12第3パルビル1F

事務局電話番号

088-624-8853

事務局FAX

088-624-8854

事務局担当者E-mail

coco111light@yahoo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	100年住宅たくみ
2. グループの名称(必須)	たくみ
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	徳島県香川県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	山杉 充夫
7. グループ代表者の所属先(必須)	(株)たくみ設計工房
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-2, VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	徳島県徳島市東新町2丁目12第3パルビル1F
10. グループ代表者電話番号(必須)	088-624-8853
11. グループ事務局事業者名(必須)	(株)たくみ設計工房
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1, VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	張 正昭
14. グループ事務局郵便番号(必須)	770-0912
15. グループ事務局所在地(必須)	徳島県徳島市東新町2丁目12第3パルビル1F
16. グループ事務局電話番号(必須)	088-624-8853
17. グループ事務局FAX番号(必須)	088-624-8854
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	coco111light@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	3	
V. 設計	3	
VI. 施工	6	
VII. 省エネルギー設備等の流通	2	
VIII. 木材を扱わない流通	4	
IX. I～VIII以外の業種	4	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	徳島杉・桧	徳島	徳島県材木認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 10 戸		地域材加算合計 10 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 0 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 10 戸	地域材加算 (うち申請が確認) 5 戸	地域材加算 (うち申請が未確認) 5 戸
	うち申請が確認 0 戸	うち申請が確認 5 戸		
	うち申請が未確認 0 戸	うち申請が未確認 5 戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸	地域材加算 (うち申請が確認) 0 戸	地域材加算 (うち申請が未確認) 0 戸
	うち申請が確認 0 戸	うち申請が確認 0 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸	地域材加算 (うち申請が確認) 0 戸	地域材加算 (うち申請が未確認) 0 戸
	うち申請が確認 0 戸	うち申請が確認 0 戸		
	うち申請が未確認 0 戸	うち申請が未確認 0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確認 5 棟	700 m ²		
	うち申請が未確認 5 棟	700 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	均等割り			
---	------	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 戸	交付申請戸数 戸	竣工済 戸	竣工予定 戸
	木造建築物			
	採択棟数 棟	採択床面積 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 100年住宅たくみ	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県香川県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) たくみ	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	徳島の杉・桧・松を使用。地域環境水害、シロアリ対策として、当社特許2重土台・通気胴縁使用また、仕上げ材、下地材構造用合板と杉材2重使用。下地の杉材は、若くて細い木も使えます。日射量対策として、屋根2重下地、柱梁は無垢材を使い100年住宅	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	小屋束工法だけでなく、徳島の昔から高津梁・登り梁などまた、健康面から漆喰断熱材炭化コルク梁土台柿洪塗り仕上げ材米ぬかの油キヌカ塗装ニカワを接着に使用する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域あうため石瓦外壁漆喰経年変化にも風格味のある住宅。間取りの改装もできるように頑丈な躯体。地域産業の活用として、障子襖など積極採用	◎
④①～③の背景	ロングライフスタイル確立地盤調査地盤保証瑕疵保険設計性能評価書より長く住むようになり、あきない家デザインつくり長持ちする家つくり	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当社特許の金物を使い耐震3断熱4高齢者対策4品質の高い住宅の安定供給。住宅瑕疵担保機関ハウスマンの認定団体に登録また、ハウスマンの建築進捗履歴システムを活用。私ども、会社は、新しく創業1年余り、また、大工など個人事業主が多く。個々の集まりがグループをつくり、地域での品質の高い住宅建築を目指す。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	建材の企画寸法標準仕様書作成。当社特許胴縁、特許巾木、特許土台あり大量製作	◎
②建材・資材調達の見積りや事務の合理化	当社、グループ会社親会社ハルハウスあり、設計施工企画化合同化、合理化効率化をはかる経理面事務面も同。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	設計側と施工側と定期的内合わせを行う	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	合理化会議の場をつくり、メンバー参加を安易にできるよう働きかける	◎
b		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	第三者検査システム。住宅進捗履歴システム活用。若い大工職人の働き場つくり。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	施工チェックシート活用し施工品質チェック。大工職人技術の向上。基礎コンクリートにつちては、JIS認定工場より供給。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積り・積算のルール化	四半期ごとに製材価格の見積りも、共通見積り書作。見積りミスをなくするため色決め見積りも、つねにネットにて送る。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	技術研修。定期講習会。情報の共有化。他グループとの交流会。構造、完成見学会を利用し、長期優良住宅未経験者等への勉強会実施。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅省エネ化推進体制強化事業の住宅省エネルギー施工技術者講習の受講を勧める	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 100年住宅たくみ	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県香川県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) たくみ	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	--	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	ハウスG住宅履歴利用また、ネット四国加入住宅履歴を利用する。自社だけで履歴管理をするのではなく他の機関も利用共通管理する。
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	早急に確立をする。会社があさく、100年住宅めざす。躯体保証100年。メンテのいらぬ家。
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	会社内にて、リフォーム部門あり、毎日曜東新町商店通りにて、相談会実施。
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	則急に確率、全員参加。長く管理体制として、構成員も参加。
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	自社の場合グループ会社、親会社ハルハウスが引き継ぐ。また、構成員の場合他の構成員が引き継ぐ
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	躯体保証100年グループ独自の保証書発行。今後も続行。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。	他のグループと交流しグループと比較内容見直しを行う。
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	構造見学会、完成見学会と実施時に未経験者工務店。大工の研修会実施。
	② ①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	月1回予定おもに、技研究。プレカットに頼らないたくみのわざ。
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	今回10棟5棟決定5棟未決定であるが、高品質耐震3断熱4にて供給していく。今後品質の高い住宅販売をしてゆく。
	④ ③に基づく業種ごとの合 理化への取組	宣伝チラシ販売。徳島新聞社住宅展示場にて宣伝受注活動。無駄な営業をしない。無駄な訪問。無駄な函面を書かない
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	今回5名予定。特に大工さんを予定
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	参加の日時間を与える。仕事のシフト化時間割作成
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	当社会長同志社研究室とタイアップし研究に取り組む実験家あり、多くの研究者、技術者から導入
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	公的機関に実験依頼。私どもで、実験データ作成特許製品有
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。	メンテのいらぬ家躯体100年保証。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 100年住宅たくみ	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県香川県	
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) たくみ	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位 (必須)	仕上げ材床壁杉板。窓枠等杉板。構造材柱梁羽柄材。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合 (必須)	施主の希望内容にもよりますが、60%以上80%くらい	◎
	地域材利用に関する共通ルール (必須)	県産材の証明書。JISJIS規格合格。水分検査18%以下	○
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木会社～プレカット～大工～顧客に流れる。私共は、多くの地域材が、使われるように設計。管理をおこなう。	△
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	定期的に関屋原木他見積もりをとりチェックをおこなう	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	住宅1棟あたり最低60%80%を目指す	◎
c	①-1 畳の活用	和室標準装備追加なしにて、障子襖床住宅につけている。	◎
	①-2 和瓦の活用	標準仕様とし和風平屋に使用している	◎
	①-3 襖の活用	和室標準装備追加なしにて、障子襖床住宅につけている。	◎
	①-4 障子の活用	和室標準装備追加なしにて、障子襖床住宅につけている。	◎
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	漆喰かべ、柱、梁に柿渋塗、無垢床米ぬか油キヌカ塗り	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	登り梁工法、徳島流高津梁の継承。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	健康志向。田舎くらしあう。	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	漆喰塗外壁の街並み、	○
	④和の住まいの要素を取入れた取組	竹を使用床材。竹炭を床下に入れる	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	材木だけでなく、地場製品とくに竹含水量9%以下。瓦徳島流丸瓦+平瓦ふきの伝統。を取り入れ。	○
その他			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組	当社にて、福島にて徳島杉無垢材にて製作の室内ドアを取引し、使用ケースあり。施主希望にて、おこなう。	○
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。